

Yoshitsugu Morita

森田 昌嗣

審査委員長

(九州大学大学院芸術工学研究院教授)



福岡県内で企画・開発・生産された商品等の中から、デザイン性に優れたものを表彰する「福岡デザインアワード」が、今回から応募対象が全国に拡大されました。応募件数は微減となりましたが、応募団体は増加し、今回も意欲的で質の高い商品等の応募をいただきました。応募部門は、これまでの7部門を8部門に組み替え、昨年度まで特別部門としていたイベント・地域活動部門をその他の部門と同様に扱うことになりました。また、賞の構成については、優秀賞が金賞に改められ、新たに流通部門賞が設けられました。審査委員も、実務家8名と大学等関係者7名により金賞・入賞の選考を行い、流通関係者5名により流通部門賞を選考、そして20名全員で大賞を選考いたしました。

審査は、「市場性」「地域性」「独自性」「新規性」「機能性」「造形性」「環境性」及び「伝達性」の8つの基準に、下記の審査の観点のいずれかにおいて優れたものを選定する方法で行いました。

- 伝統技術を活かすなど、地域に貢献している。
- ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が大きい。
- 技術面や機能面が優れている。
- 地球環境にやさしい、生活福祉の向上につながる。
- 新しいライフスタイルを提案している。
- パッケージ等ユーザーとのインターフェイスに優れている。

1次審査では、応募内容の事前確認と書類による選考を行いました。2次審査では商品実物、概要パネルなどによる審査委員投票を行う非公開審査と、部門別・応募者別の詳細なヒアリングによる公開審査を実施しました。公開審査の終了後、非公開審査での投票結果に公開審査でのヒアリングで得られた知見等を加えた「審査委員協議」によって賞を選考しました。協議の結果、受賞候補36件を選出し、この中から最も優れた「大賞」を1件、特に優れたもの「金賞」を6件、優れたもの「入賞」29件を選出しました。そして「流通部門賞」2件が選出されました。(内訳は表を参照)

部門別の 応募数と受賞数	応募区分	応募数	受賞数
※応募数は 2次審査時点のものです。	A 衣料・アクセサリー	16	4
	B 食品	29	8
	C 健康・美容・福祉用品	16	5
	D 生活雑貨・生活用品	37	11
	E 家具・インテリア	19	2
	F 産業・商業・公共空間機器	8	3
	G 情報・サービス	2	2
	H イベント・地域活動	8	3
		135	38

今回は、産業・商業・公共空間機器部門、情報・サービス部門、そしてイベント・地域活動部門の受賞率の高さが特筆されます。特に今回、初めてイベント・地域活動部門からの大賞受賞となり、デザインの役割と効果の拡がりを表しています。食品部門、生活雑貨・生活用品部門は、今回も安定したデザイン性の高さから、応募件数・受賞件数も多く、金賞を3件受賞するなど、今年度も地域の資源を活かした創意工夫によって魅力的な商品に結びつけた部門となりました。

大賞受賞の「いいかねPalette」(イベント・地域活動部門)は、廃校となった田川市立猪位金小学校を地方創生プロジェクトの多機能型拠点施設とする利活用プロジェクトで、筑豊炭田で栄えた田川市の最盛期の人口も半減するなど、地方都市の課題を抱え、人口の流出抑制と流入促進、雇用促進と雇用機会の創出を目指しての事業です。

多数の音楽家を輩出するなどの土地柄を活かし、音楽・映像などのコンテンツビジネスを中心とする「創業支援・産業育成の拠点化」の取り組みです。田川市出身の若手のスペシャリスト達が、入念な戦略と実践を繰り返し、民間の運営で事業を展開し、事業の拡大にも繋がっています。

「いいかねPalette」は、コンテンツビジネスを核に、田川から世界に向けて多彩な事業を展開することで、定住・移住と交流・観光を増加させ、新たな人の流れと文化の交流を生み出しはじめていることが、廃校改修モデル、さらには地方創生モデルともなり得る、持続的に成長する優れたビジネスデザインです。

食品部門の金賞2件は、女性目線のお土産に考案された、新しいシュガーの作法をデザインした「Kitaキュン♥Sugar」です。北九州市をPRするために、シュガーロード・長崎街道にちなんだ、コーヒーや紅茶に5分間程度は浮かんだ状態で絵柄が壊れない、これまでにないレース状のシュガーが生み出されました。絵柄は、北九

州市の名所が網目状に施されており、パッケージデザインにもレースシュガーの特徴が端的に表現されているなど、オンリーワンのデザインです。もう一つ「世界遺産・明治日本の産業革命遺産」の重要な役割を果たした北九州市のお土産品として開発された「ネジチョコシリーズ」は、鉄鋼業で栄えた北九州のシンボルである鉄をイメージしたチョコレートで、実際に締めて遊ぶことができるボルトとナットの組み合わせが楽しく、食べてみたくります。特に、ボルトとナットを用いたパッケージは、簡潔で美しいデザインであり、チョコレートの楽しさをコミュニケーションする優れたデザインです。また、固有なインパクトのあるチョコレート商材として評価され、流通部門賞とのダブル受賞となりました。

健康・美容・福祉用品部門の金賞2件は、筆記具保持用補助具「きのこグリップ」と「非金属車いす」です。「きのこグリップ」は、筆づかいの力が弱くても字が書ける筆ペンに対応したペングリップです。これまで実現していなかった硬筆用ペングリップ特許者との共同開発による毛筆用への展開や、長崎大と共同で書字動作力の解析や実証実験を行うなど、綿密かつ丁寧に開発が進められ、着実に機能上のエビデンスを押さえるとともに、手に持ったときの感触が、うまく手のひらに収まって心地よいと感じられるように、きめ細やかな曲面を用いた形状を追求するなど、ひとにやさしいデザインです。「非金属車いす」は、通常的車いすの場合、空港の金属探知ゲートでは一端降りてボディチェックを受け、搭乗ゲートでも機内用の車いすに乗り換えるなどの負担解消が開発目的です。積層合板を主素材に、コンパクトな構成により機内にも乗り入れできるような脱着式の肘掛けを採用するなど、空港内から機内までシームレスに使用できる、シンプルながらも木の温かみを感じられる、精緻に作りこまれた優れたデザインです。

生活雑貨・生活用品部門の金賞は、福岡県八女地域のスギやヒノキを使った携帯電話用の充電器「MOCREST(モクレスト)」。通常の充電器はプラスチック製の無機質なボックス型が大半です。MOCRESTは、ワイヤレス充電器の機能を有しながらも、木の温もり、触った心地よさ、さらには部屋に置いた時にはインテリア性も発揮するなど、自然のあたたかさが伝わる優れたデザインです。

家具・インテリア部門の金賞は、福岡のオリジナリティを世界に発信したいとの想いから開発がスタートし、福岡県内の伝統産業である大川家具と博多織による独自の家具づくり「OKAWA & HAKATA Project」です。和のテイストをシンプルモダンにまとめ、張地には博

多織の伝統柄をもとに現代的にアレンジした柄のデザインとなっていて、木とのハーモニーが美しい、大川家具と博多織の伝統を踏まえながらも、現代の新しい生活シーンを提案しています。

今年度も、地域の特質を、深い独自の着眼点から魅力的で独創性の高い商品等に結びつけた“地域デザイン力”が多数受賞するなど、デザイン活用が持続的に地域産業と生活文化を牽引する力となっています。そして、地域独自の人的・物的資源やコト資源を有機的に結びつけ、活力に繋いでいく取り組み、「いいかねPalette」の大賞受賞は、デザイン活用が、モノづくりだけでなくコトづくり、さらにはヒトづくり、そして地域づくりにおいても重要な方法となることを示しています。

次年度は、20回の節目を迎える福岡デザインアワードです。地域から日本、そして世界へ発信できる、ヒトにやさしく、魅力ある生活を生み、地域の活力となるデザイン力を備えた、多数の意欲的な応募を期待しております。

